

身をもって面白い！子どもって面白い！



青南だより

令和4年12月号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<みんなの思いが繋がった運動会>

今年の運動会は、青空の下、親子一緒に実施できました。徐々にやる気が高まったり、終わった後には他学年のダンスや競技を繰り返し楽しんだりする微笑ましい姿が見られています。日々の遊びや生活の中で種をまき、当日につなげてきました。毎日元気に登園し、友達と楽しさや悔しさを共有する積み重ねも必要でした。幼稚園と家庭とが子どもたちの伸びる力を信じて、同じ思いで見守ったり言葉掛けをしたりする関わりが大切だったことを保護者の皆様の感想文からも痛感しました。

<基本的生活習慣は学びの土台>

子どもたちの成長を感じると同時に、入学や進級に向けてちょっと心配になることもあるでしょう。年長児は、小学校生活に向けて、身支度や箸・傘の扱いなども確かめていきたい時期です。困ったときに助けを求めることも含めた挨拶やコミュニケーション力も身に付けたいことです。それらの土台として、もっと大事なことが、早寝早起き朝ごはんと規則正しい生活です。それらができていることが自信となり、一人で登校し、学校での安心した学びにつながります。

<あふれる好奇心から>

園庭の果実や栽培物は、スーパーで買ったものではなく、日々世話をし、見続けてきたものですから、収穫への期待はとても強いものがあります。ザクロは砂場の上にあるので、日々色付きや割れてきた様子を見ている子が多く、中を見たい気持ちが特に強く、収穫した後、裏庭に柿を採りに行っている間にあっという間に硬い皮を剥いて中のきれいな実を取り出していました。手をベトベトにしながら色やにおい、肌触りを興奮気味に話す様子は嬉々としていました。



年長児に向かって走る年少組のかけっこ！



海のイメージで踊りを楽しんだ年中児



年長児のダンスやリレーはやっぱりかっこいい！



久しぶりにお父さん応援団が復活！



ザクロは子どもたちと採った後、中を見たい強い子どもたちの気持ちの結果こうなりました！

・・・師走(しわす)・・・

大雪(7日)・・・園庭のかえでも色付き始めるでしょう・・・

冬至(22日)・・・空気が澄んで遠景がよく見えます・・・

シンボルツリーのカエデの木は、少しずつ色付き始め、サクラの葉も落ち始めています。ザクロは近年では一番きれいに実り、収穫もできました。裏庭の柿はなるべく熟してから採ろうとしたことで、鳥たちに先を越された実もありました。それでも昨年ほどではないものの、3日に分けて収穫した数を合わせると、110個ほどになりました。幼稚園でも食べましたが、一人一個ずつ持ち帰ることができそうです。秋の恵みに感謝です。



青南の
二十四節気